



平成19年12月14日

大塚山最終処分場搬入再開見通しについて

大平興産株式会社

平成18年8月23日に当ホームページにてお知らせいたしましたように、現在まで、大塚山最終処分場におきましては、埋立および搬入を停止しております。

弊社は、永年にわたり、産業廃棄物および一般廃棄物の適正な埋立処分という公的・社会的責任を担っており、今回の埋立停止は、地域の皆様の企業活動、市民生活に少なからず影響を及ぼす事となり、大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

保有水の漏洩が危惧されます既存の第二処分場の原因の究明、対策の実施状況につきましては、すでにご報告のとおり、NPO法人 日本地質汚染調査機構（楡井久理事長）へご依頼し、学識者などで構成する第三者審査会を設置、この1年強の期間、徹底的な原因の解明および、対策を講じてきたところでございます。本件は公開を原則としており、同機構のホームページで順次公開されております。現在は、対策は、ほぼ終了し、改善の方向に向かっておりますので、遅からず、良い結果はご報告できるものと思っております。

(NPO法人 日本地質汚染審査機構 大塚山審査会について
<http://homepage1.nifty.com/npo-geopol/report.htm#otukayama>)

一方におきまして、少しでも早く、埋立搬入を再開すべく、新設工事中の第三処分場を稼働できないか、検討しておりましたが、この度、そのための変更申請が許可され、一部稼働できる目途がたちましたので、ご報告いたします。

第三処分場は、第二処分場の次に埋立をおこなう大塚山処分場として、すでに設置認可を得て、工事も完成しておりますが、第二処分場と第三処分場は、一部重なる部分があります。このため遮水工に係る手直しの工事(2重遮水シートの敷設による分離)を行うこととなり、その完成を以って埋立事業を再開することになります。工事完了までには、2～3ヶ月要しますので、今しばらく、お待ちいただきますよう、お願いいたします。

皆様におかれましては、ご心配をおかけしておりますが、今後とも、ご支援下さいますようよろしくお願いいたします。

◎ 第三処分場稼働予定地概要

埋立面積	21,037 m ²
埋立容量	329,198 m ³
埋立開始予定	平成20年3月頃

